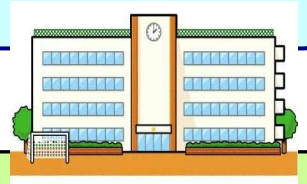


〇〇高等学校は、
あなたの「夢が実現できる」、新しいタイプの高等学校です。
私たちといっしょに、夢を実現させましょう！



新たな学びのシステム

一人一人にあわせて「学びたい」ことを柔軟に学べる場

希望に応じて自由に「学べる」「活動できる」

昼間定時制
(4限授業)
(必修)

相互に受講することも可能

通信制課程

他の定時制高校から受講することも可能

「レポート」・「スクリーニング」・「試験」
により単位修得

午後の時間

【選択授業】

★ 「進学・就職用講座」、「スポーツ」、「芸術」など、特色ある多彩な講座から、自分の興味・関心、進路に応じた講座を選択

【クラブ活動・地域活動 等】

★ 「クラブ活動」や「地域活動」、「勤労体験」、「ボランティア活動」等への参加も可能

午後の時間の講座を学ぶことによって、3年間で卒業することも可能

夜間定時制
(4限授業)
(必修)

希望に応じて自由に「学べる」「活動できる」

様々な活動に参加することも可能

就労支援の場

- ◆ 就労支援や在学中の就労相談(アルバイトも含む)にも専門家が丁寧に対応
- ◆ 職業人としての心構え、ビジネスマナーなども学べます
- ◆ 勤労体験、ボランティア活動を通して、社会人としての基礎力をアップできます

地域の活動・学びの場

- ◆ 競技・生涯スポーツ活動の場
- ◆ 音楽、美術、書道などの文化活動の場
- ◆ 地域の伝統工芸・芸能などを学ぶ場

Q & A

学校の特徴

Q 学校の特徴を教えてください。

- A ● 二部制（昼間部・夜間部）の定時制課程と通信制課程を併設している普通科単位制高校です。
- 生徒は、「昼間定時制課程」、「夜間定時制課程」、「通信制課程」のいずれかに在籍します。
 - 定時制課程では、「昼間部」と「夜間部」の間の「午後の時間」帯に、「進学及び就職用の講座」や「スポーツ」、「芸術」など、特色ある多彩な講座から一人一人の進路実現や興味・関心にあわせて、「学びたい」ことを柔軟に学べるシステムをとりいれます。
また、「午後の時間」帯に、「クラブ活動」や「地域の活動」、「勤労体験」、「ボランティア活動」などに参加することもできます。
 - 通信制課程では、自宅で自学自習を行いながらレポートを作成し、学校で実施しているスクーリングや試験を受け、卒業に必要な単位を修得していきます。また、定時制課程の一部の講座を選択することもできます。

- A ● 一人一人を支えるため、スクールカウンセラーといった専門家を配置するなど、教育相談の充実を図るとともに、様々な悩みや相談にもていねいに対応します。

- A ● 就労支援や在学中の就労相談（アルバイトも含む）にも専門家が丁寧に対応します。
- 職業人としての心構え、ビジネスマナーなども学べます。
 - 勤労体験、ボランティア活動を通して、社会人としての基礎力をアップすることができます。

- A ● 学校を、地域の「スポーツ活動」や「文化活動」、「伝統工芸などを学べる」場とします。また、「午後の時間」帯に、これらの地域活動に参加することもできます。
幅広い年代の人と交流することで、お互いに「鍛え合い」、「支え合い」、「学び合う」ことができる場とします。

授業、学校生活

（定時制課程）

Q 不登校経験があり、高校でも授業に出れるかどうか心配です。

- A ● スクールカウンセラーといった専門家を配置するなど、教育相談体制を充実し、生徒の不安を取り除き支える体制をつくります。学習面でも、少人数展開の授業や、個別指導など、ていねいにサポートします。

Q 授業は、どのような時間割で受ければいいのですか。

- A ● 昼間部または夜間部の1日4限の必修授業に加え、「午後の時間」帯の講座（進学や就職に向けた学習、スポーツ、芸術等）を選択することもできます。担任と十分に話し合い、自分自身の時間割を決定してください。

Q 「午後の時間」帯では、どのような活動ができるのですか。

- A ● 「進学・就職用講座」や「スポーツ」、「芸術」など、一人一人の進路実現や興味・関心にあわせて柔軟に選択して学習することができます。
また、「クラブ活動」や「地域での活動」、「勤労体験」、「ボランティア活動」などに参加することもできます。

Q 卒業するには・・・

- A ● 1日4限の授業を受けることで、4年間で卒業することができます。また、「午後の時間」帯の講座を受講することや、通信制課程との併修、資格取得等の単位認定により、卒業に必要な単位を修得すれば、3年でも、3年6か月でも卒業することができます。

卒業後の進路

Q 進学を考えています。

- A ● 大学・短大・専門学校への進学に対応できる授業を開講しています。それぞれ必要な力をつけていけるようていねいにサポートします。

Q 就職を考えています。

- A ● 積極的に就職求人確保に取り組みます。また、学習面でも、就職試験に対応できる学力をつけるよう授業が設定されています。

- A ● 「地域若者サポートステーション（※）」などの機関と連携し、就労支援や在学中の就労相談（アルバイトも含む）にも専門家が丁寧に対応します。また、職業人としての心構えやビジネスマナーなどを学んで力をつけていくこともできます。

※「地域若者サポートステーション」とは・・・

働くことに悩みを抱えている若者を支援する機関で、キャリア・コンサルタントや臨床心理士などによる一人一人に寄り添った専門的な相談、多種多様なセミナーなどによるステップアップ、協力企業への就労体験などにより、就労に向けた支援を行っています。

- A ● 勤労体験やボランティア活動、様々な体験活動などを通して、社会人としての基礎力を付けていきます。

クラブ活動

Q クラブ活動について教えてください。

- A ● 「午後の時間」帯など、必修授業（1日4限）以外の時間は自分自身で決めることができますので、クラブ活動に十分な時間をかけ、力を向上させることができます。

（平成27年度・28年度について）

- A ● 各クラブの状況に応じて、高等学校体育連盟、高等学校文化連盟、高等学校野球連盟等に属し、大会やコンクールに出場することができます。また、体育系のクラブについては、加盟各校と練習試合を行うこともできます。

- 高校野球については、平成28年度までは、新しい学校と伊都高校の合同チームとして出場することも、それぞれの学校が単独で2チーム出場することもできます。出場の仕方については、今後詳しく決めていきます。

- 高体連に加盟する運動部活動について、全国大会では複数の学校などによる合同チームの出場は認められていません。しかし、県内の大会に限って、同一課程による合同チームの出場は認められています。今後、より柔軟な出場の仕方を認めていただけるよう、県の高体連に働きかけています。

- 文化系のクラブ活動について、フェスティバルのような大会には、複数の学校の合同チームとして出場している事例は過去にもありますが、コンテストやコンクールといった大会へは、現時点で合同チームでの参加事例はありません。今後、より柔軟な出場の仕方を認めていただけるよう、県高等学校文化連盟やその専門部に働きかけていきます。